



請求ハガキ	巻末ハガキ
料 金	無 料
完成時期	5月下旬

2019年4月 英語英米文学科

2019年4月に現・英米文学科を英語英米文学科に名称変更を計画しています。
英語の運用力を強化しながら、英語圏の文学・文化・歴史の深い理解をめざします。

伝統の少人数教育で、「教養ある豊かな人間性」を育む

成蹊大学は教育者・中村春二が1912年に創立した「成蹊実務学校」を源流としています。「少人数による個性尊重の人格教育」の伝統は、大学の前身となる旧制高等学校のリベラルな学風とともに現在も受け継がれています。教職員と学生が至近距離で接することで、ゼミや研究室、キャリアサポートに至るまで質の高い教育と支援を実現してきました。また、文系・理系すべての学生が、東京・吉祥寺の風格ある建築物と緑に囲まれた「ワンキャンパス」で4年間を共に過ごすことから、さまざまな学問や仲間との出会いが学生の成長を支えています。双方向対話型のゼミで学ぶ高度な専門知識、学部を越えて身につける幅広い教養。成蹊大学では、学生一人ひとりが学問の本質を探究できる豊かな環境を整えています。

学部・学科GUIDE

経済学部 経済学と経営学を総合的に学ぶ

経済経営学科は、経済学と経営学の両方を徹底的に修得し、さらに学際科目を設けたカリキュラムとなっています。経済学・経営学に加え、さらに得意分野（環境、数学、情報、歴史など）をつくることによって安定したキャリアを獲得するための学びの体系が準備されています。また学生が目的意識をもって勉強していくことができるように、7つの「スペシャリストコース」（経済政策、経営心理、キャリア開発、企業戦略、金融ファイナンス、企業会計、地域デザイン）と選抜制の「情報分析プログラム」が用意されており、自分の興味や将来のプランに合わせて集中的な学修を進めることができます。

法学部 深い見識のある人間の育成

近代社会において、法律と政治はともに不可欠であり、相互に結びつきの強い関係にあります。そのことから、共通科目を充実させ、1年次から少人数制のゼミを設けて専門知識を段階的に深め、問題解決型の思考力を養います。**法律学科**と**政治学科**の学科の枠を越えて履修できる科目が多く、学びやすいことが特徴です。また、より高度な専門知識と技能を求める学生に向けたエキスパート科目を設置。「LE (Legal Expert) 科目」は、民法を中心とする重要分野を集中的・発展的に学ぶことで法的な思考能力の基礎を固めます。法科大学院への進学、公務員、弁理士、司法書士をめざす人に特に適しています。両学科の学生が選択できます。

文学部 さまざまな角度から「人間」を探究

文学や文化、言語を手がかりに、「人間とは何か」を

●学部・学科 (2018年度募集人員)

経済学部	経済経営学科	500
法学部	法律学科	280
	政治学科	160
文学部	英語英米文学科*	130
	日本文学科	90
	国際文化学科	110
	現代社会学科	110
理工学部	物質生命理工学科	133
	情報科学科	134
	システムデザイン学科	133

*2019年4月、英米文学科より名称変更予定 (計画中)

探究します。他学科の専門科目も履修できるので、学科を越えた多様なアプローチが可能。特に国際化と情報化に対応した能力の養成に重点を置いています。**英語英米文学科**では、英語の運用力を強化しながら英語圏の文学と文化全体の深い理解をめざします。**日本文学科**では、日本文学や日本語を深く考察し、日本文化の本質を正しく知ることで、海外に向けて正しく日本の姿を伝えられることを重視しています。**国際文化学科**では、ひとつの地域や民族について、過去の文化との比較、ほかの文化との比較、世界の中での位置づけという3つの視点から学びます。**現代社会学科**では、家族や都市、地域社会、環境、福祉など、現代社会に存在するさまざまな問題について分析・研究します。

奨学金制度

A方式・E方式・C方式・P方式・M方式での成績上位者並びにS方式（理工学部のみ）の合格者全員を対象に初年度年間授業料の半額相当額を給付する「成蹊大学学修支援奨学金」を設置。同奨学金は前年度の学業成績、人物ともに優秀な2～4年次の学生に対して年間15万円を給付。その他「地方出身学生支援奨学金」など多数。給付奨学金の割合が高いことも成蹊大学の特徴です。



理工学部 科学技術の力で社会を支える人材の育成

各学科とも、1・2年次に科学技術の基礎となる理学系科目の知識をしっかりと身につけた上で、3年次後期という早い段階から10人前後の研究室に配属され、卒業研究に取り組みます。**物質生命理工学科**は物理、化学、生物を三本柱として学ぶ総合理工学科。物質・ナノサイエンス、化学・ライフサイエンス、環境・エネルギーの3分野からなる研究室で必要となる科目を中心に学びます。**情報科学科**は、コンピュータのハードウェア・ネットワーク、ソフトウェア・アプリケーションや情報処理技術に関するあらゆる領域を包括して学べる学科です。**システムデザイン学科**は、機械工学、電気電子工学、ロボット工学、経営工学の4分野を融合して、モノづくりの基盤技術を総合的な見地で活用できる能力を養います。

ゼミ・研究室を中心とした少人数教育

教員が学生一人ひとりの特性を見極め、その個性を伸ばすために、少人数による一人ひとりと向き合った教育を行っています。学生同士や、学生と教員が互いに切磋琢磨を重ねる中で自発的に学ぶ姿勢を身につけるとともに、多様性を享受する姿勢を養っています。また、自ら目的を持ち、研究を深める場として、学生全員がゼミや研究室に所属し、専門的な学術教育と人格教育を高い次元で両立します。知識や技術を身につけたうえで4年次の卒業論文や卒業研究に取り組みます。

国際教育

「英語教育」と「異文化理解」の二つを国際教育の柱としています。1年次の夏休みという早い段階でオーストラリアのモナシュ大学での「サマースクール」を実施。

留学情報

協定を結んでいる海外の大学へ学生を派遣する留学（協定留学）には、1年間派遣する「長期留学」、約3～6カ月にわたり、集中的な英語学習や、インターシップなどを行う「中期留学」、夏・春休みに約1カ月の語学研修を行う「短期留学」があります。長期留学では、留学先で修得した科目が卒業単位として認定されるため、休学せずに4年間で卒業することも可能です。

このほか、学部横断型の「成蹊国際コース」は全学部の2年次から開講される選抜制のプログラム。さらに、英語以外の言語やその背景となる文化を学ぶ機会も提供し、広い視野を養い、世界を多面的にとらえます。

進路 将来を見据えた教育と卒業生の活躍

就職支援 キャリア支援センターでは全学生を対象に、1年次からキャリア教育科目を開講。「すべての学生が自身の適性をいかし、なおかつ成長できる企業へ就職すること」を目標に、学生一人ひとりに個別相談を中心としたサポートが行われています。

主な就職先 三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、野村證券、大和証券、三菱商事、三越伊勢丹、資生堂、武田薬品工業、森永製菓、カルビー、サッポロビール、キュービー、富士通、三菱重工業、三菱電機、本田技研工業、マツダ、JR東日本、JR東海、日本航空、全日本空輸、NTT東日本、KDDI、大日本印刷、凸版印刷、バンダイ、博報堂、JTBグループ、東京ガス、国家公務員 他多数 (2017年3月卒業生実績)

入試GUIDE (2018年度実績)

- ① 2教科型全学部統一入試 (E方式)
- ② 3教科型学部個別入試 (A方式)
- ③ センター試験利用3教科型入試 (C方式)
- ④ センター試験利用4教科6科目型奨学金付入試 (S方式)
- ⑤ センター・独自併用5科目型国立併願アシスト入試 (P方式)
- ⑥ センター・独自併用5科目型多面評価入試 (M方式)
- ⑦ 指定校推薦 / 全学部
- ⑧ AOマルデス入試 / 全学部 (一般・帰国生・社会人・外国人)

オープンキャンパス2018(予定)

8/4(土)、8/5(日)、8/6(月) 10:00～16:30
11/25(日) (大学祭期間中) 10:00～16:30
※いずれも予約不要
※詳しいスケジュールは成蹊大学ホームページでご確認ください
※11/24(土)は入試相談会を実施